

第69回 東京都中学校地域別(多摩東部・西部)陸上競技大会 大会規則及び競技注意事項

本大会は2018年度日本陸上競技連盟の競技規則と本大会要項によって行う

1 招集方法

- ①招集場所は、100mスタート地点の後方で行う。
- ②招集は競技開始時刻の、トラック競技は30分前から始め、20分前に打ち切る。
フィールド競技は40分前から始め、30分前に打ち切る。
- ③リレーのオーダー用紙はタイムテーブル記載の時刻までに、競技者係へ**2枚**提出すること。
(オーダー用紙は競技者係に用意してある)

2 競技方法

- ①トラック競技のレーン順、フィールド競技の試技順はプログラムに示した上から下の順に行う。空いたレーンがあってもつめないで行う。
- ②スターティング・ブロックの使用を短距離・ハードル走・リレーにおいて義務づける。
- ③フィニッシュラインを越えても自分のレーンを走り抜ける。(他の競技者との接触を避けるため)
- ④この大会は記録会方式とする。(予選・決勝は行わない。)
- ⑤トラック競技とフィールド競技に同時に出場する競技者は、トラック競技を優先するので、必ずフィールド競技の審判員に申し出て、トラック競技終了後ただちにフィールド競技に戻ること。また、招集所で2種目に出場することを必ず申し出ること。(ラウンド内に戻らないとパス扱いとする)
- ⑥800m・1500mのスタートはオープンレーンで行う。
- ⑦1500m競走では4分45秒、3000m競走では10分30秒を過ぎた競技者は、次の周回を走ることとはできない。
- ⑧走高跳のバーの上げ方は、次のとおりとする。

種目	練習	競 技
共通男子 棒高跳	2m20 3m00、80	2m40 2m60 2m80 3m00 以後10cmずつ 4m以降は5cmずつ
共通女子 棒高跳	1m40 2m00、60	1m60 1m80 2m00 2m20 以後10cmずつ 3m以降は5cmずつ
共通男子 四種競技	1m35 1m50	1m38 1m41 1m44 1m47 1m50 以後も3cmずつ
共通女子 四種競技	1m15 1m30	1m18 1m21 1m24 1m27 1m30 以後も3cmずつ

- ⑨走幅跳と砲丸投の試技は一人3回とし、すべて測定を行う。
- ⑩リレーメンバーは、申込一覧表に申込んだ6名以内とする。(都中体連ルール)また、リレーに使用するマーク用テープは各校で用意し、学校名を記入して使用すること。使用後は自校で責任もってはがすこと。
- ⑪競技に使用する用器具は、すべて競技場備え付けのものを使用する。
- ⑫混成競技について (1)棄権した種目以降の参加はできない。(最終順位にも加えられない)
(2)3種目終了時点の順位により、4種目目の番組編成を行う。招集場所にて組・レーンを確認し腰ナンバーカードを受け取る。(代理可)

3 ナンバーカード

- ①ナンバーカードは各校で用意し、配当された番号を規定通りの大きさと書くこと。胸と背の四隅をしっかりと止めること。但し、跳躍競技については胸・背のどちらか片方でもよい。※走幅跳は前面が望ましい。
- ②腰ナンバーカードは競技者係で受け取り、右腰につけて最終コールを受ける。フィニッシュ後所定の位置に返却する。

4 表彰

- ①各種目の上位記録1位～8位までの入賞者(チーム)には賞状を授与する。但し、地域変更により参加している学校は、8位入賞者と同等の記録を出した者(チーム)に別途、賞状を授与する。競技終了後、本部裏の通路に取りに来ること。

5 総体・通信陸上大会への出場について

- ①総体・通信陸上大会への出場権は、本大会で標準記録を突破した者および各種目8位入賞者(地域変更で参加している者は、8位入賞者と同等の記録を出した場合)に与えられる。但し、共通男女・走高跳、四種競技の種目においては、標準記録を突破した者に限る。100m・200m・400m・ハードル競技の条件は別に定める。
- ②総体・通信陸上大会への参加標準記録突破者は一覧表を正面玄関前に掲示するので、そちらを確認すること。
※後日、ホームページにも掲載するので、そちらでも確認できる。
- ③100m・200m・400m・ハードル競技のみ、総体・通信陸上大会への出場権は、東西地区の8位入賞者および両地区を合わせた9位以降、上位8位以内の者(地域変更で参加している者は、これと同等の記録を出した場合)に与えられる。 ※8位が同記録の場合は100分の1秒単位で記録を比較し、資格を与える。

6 全国大会出場について

3・4日目に行われる四種競技に限り、全国大会参加標準記録を突破した者は、全国大会参加資格を得ることができる。

7 不正スタートについて

- ①単独種目において、不正スタートをした選手を失格とする。
- ②混成競技において、各レースにおける不正スタートは1回のみとし、2回目以降の不正スタートは全て失格とする。
- ③不適切行為等による対応は本プログラムP11を参照し、内容を十分に確認しておくこと。

8 抗議について

- ①競技結果の発表から30分以内に、大会本部へ申し出ること。
- ②抗議は引率顧問が行うこと。

9 競技場使用上の注意

- ①学校受付時(7:20~7:40)にプログラムの配布と入場順の抽選を行う。(受付は顧問又は外部指導者に限る。)その順番に従い、開門時間(8:00)各校2名以内が100mスタート後方のゲートより入場すること。
※参加する学校は(両日参加の場合は、両日共に)、必ず学校受付を済ませること。受付を済ませない学校、引率者のいない学校は参加を認めないことがある。
- ②メインスタンドでのテント、タープ等の使用に際して、正面手すりへのロープでの固定は禁止されている。
バックスタンドは、通行に危険のない範囲で設置すること。
スタンドでのシートの使用は各校1枚以内、最小限の範囲で敷くこと。
- ③フィールド内の芝生は使用禁止となっているので入らないこと。
- ④スパイクのピンの長さはトラック競技9mm以下、走高跳は12mm以下を使用すること。
- ⑤グラウンド以外(スタンド・建物内)はスパイクシューズを脱いで通行すること。
- ⑥更衣室は使用禁止とする。各自更衣を済ませてくること。
- ⑦貴重品や衣類の管理は各自で行い、盗難防止に努めること。
- ⑧ビン・カン類の持ち込みは禁止とし、ごみ類は必ず持ち帰ること。(競技場周辺や駅、コンビニ等に捨てないこと)
- ⑨競技場内の整備に努め、帰る時は必ず清掃すること。トイレは清潔に使用すること。
- ⑩本部前は通行禁止とする。また、セーフティーコーン設置場所には絶対に入らないこと。
- ⑪グラウンド内での飲食およびビン・カン類の持込を禁止する。(但し、跳躍選手および投てき選手においては水分補給のための水筒の持ち込みを認める。)
- ⑫競技場への往復の行動には十分注意すること。
- ⑬ウォーミングアップについて
※競技場バックストレート及び競技場周辺を使用する。(但し、長距離種目実施中にはついては、使用制限がある。
マーシャル及び練習場係の指示に従い、競技者同士が接触しないよう注意すること。
※出場競技者以外のウォーミングアップや練習を行わないこと。
- ⑭練習用のハードルを下記の時間帯にバックストレートに設置する。
- ⑮走幅跳の足合わせは、競技会開始前にピットの準備ができ次第使用を認める。また、下記の時間帯にバックストレートに設置する。

	走幅跳	ハードル
16日	9:30~10:20	~9:15
17日	9:30~12:00	

10 その他

- ①競技者の負傷については応急処置のみ本部で行うが、それ以降については責任は負わない。
- ②引率の先生方には競技役員として協力をお願いします。
- ③競技場の開門時間・主任・顧問打合せについて
6月16日(土) ★開門時間 8時00分 ★主任打合せ 8時40分 ★顧問打合せ 8時55分
6月17日(日) ★開門時間 8時00分 ★主任打合せ 8時40分 ★顧問打合せ 8時55分
<開門場所は両日とも100mスタート地点後方ゲート>
- ④競技場の清掃については、競技会終了後に各支部専門委員の指示により全校で行う。
清掃分担場所 ※ゴミ袋は、大会本部庶務係にあります。

	メインスタンド	第1~2曲走路スタンド	バックスタンド	第3~4曲走路スタンド
16日	町田	日野	多摩	調布
17日	八王子	立川	三鷹・府中	稲城